

検査の判定基準値・単位変更のお知らせ

【2022年4月からの変更点】

従来、臨床検査値の「基準範囲」については、施設毎に様々な基準が採用され、共通の基準範囲がありませんでした。各種連携により共有化された臨床データの妥当性を判断するには、統一された判断基準が必要となり、データ共有のためには、共有した基準範囲が必要となります。2012年JCCLS（日本臨床検査標準協議会）により、日本臨床検査技師会や諸学会、団体の協力を得て設定された日本全国で共通して使用することが可能な共用基準範囲が発表され、日本医師会をはじめJCCLS会員の29学会・団体の同意あるいは賛同を得られています。

現在、大学病院、国公立病院を中心に採用が広がっており、当センターにおいても、2022年4月から共用基準範囲の採用・一部基準範囲の見直しを行うこととなりました。

共用基準範囲を採用した検査項目

項目名	新基準範囲（2022年度）		単位	旧基準範囲（2021年度）		単位
	男性	女性		男性	女性	
白血球数	3.3-8.6		10 ⁹ /L	39-98	35-91	10 ² /ul
赤血球数	4.35-5.55	3.86-4.92	10 ¹² /L	427-570	376-500	10 ⁴ /ul
血色素量	13.7-16.8	11.6-14.8	g/dL	13.5-17.6	11.3-15.2	g/dL
ヘマトクリット	40.7-50.1	35.1-44.4	%	39.8-51.8	33.4-44.9	%
血小板数	158-348		10 ⁹ /L	13.1-36.2	13.0-36.9	10 ⁴ /ul
好中球	42.0-74.0		%	35.1-73.9		%
桿状核球	0.0-19.0		%	0.0-3.0		%
分葉核球	27.0-72.0		%	27.0-70.0		%
好酸球	0.0-7.0		%	0.0-10.0		%
好塩基球	0.0-2.0		%	0.0-3.0		%
単球	1.0-8.0		%	0.0-10.0		%
リンパ球	18.0-50.0		%	17.5-57.1		%
血清鉄	40-188		μg/dL	60-210	50-170	μg/dL
総蛋白	6.6-8.1		g/dL	6.5-8.2		g/dL
血清アルブミン	4.1-5.1		g/dL	3.7-5.5		g/dL
総ビリルビン	0.4-1.5		mg/dL	0.2-1.0		mg/dL
間接ビリルビン	0.4-1.5		mg/dL	0.2-1.0		mg/dL
AST（GOT）	13-30		U/L	10-40		U/L
ALT（GPT）	10-42	7-23	U/L	5-45		U/L
γ-GTP	13-64	9-32	U/L	16-73		U/L
CPK	59-248	41-153	U/L	55-210		U/L
血清アミラーゼ	44-132		U/L	39-134		U/L
non-HDLコレステロール	95-149		mg/dL	90-149		mg/dL
尿酸	3.7-7.8	2.6-5.5	mg/dL	0.0-7.0		mg/dL
空腹時血糖	73-99		mg/dL	65-99		mg/dL
HbA1c	4.9-6.0		%	4.6-5.9		%
空腹時IRI	2.0-10.0		μU/mL	2.1-12.5		μU/mL
クレアチニン	0.65-1.07	0.46-0.79	mg/dL	0.40-1.00		mg/dL
ナトリウム	138-145		mmol/L	135-145		mEq/L
カリウム	3.6-4.8		mmol/L	3.5-5.0		mEq/L
クロール	101-108		mmol/L	98-108		mEq/L
無機リン	2.7-4.6		mg/dL	2.5-4.5		mg/dL
便潜血定量	0-100		ng/mL	0-99		ng/mL
CRP	0.00-0.14		mg/dL	0.00-0.40		mg/dL
AFP	0.0-10.0		ng/mL	0.0-13.3		ng/mL

2022年度からの判定区分の表記の改訂

日本人間ドック学会からの通達により、「D1」「D2」の判定区分の表記を「D」と表記します。

値の高低、所見を加味し、指導事項の中で要精密検査、要治療の旨を記載します。

改訂の理由：精密検査を行うか、治療を行うかは紹介先が決定することになるため、D1、D2を合併する。（日本人間ドック学会）

【2020年4月からの変更点】

項目名		変更後	変更前
便	便検査定量	50未満-99	99以下
血圧	最大	90-129	90-139
	最小	50-84	50-89
血液	γ -GPT	16-73	0-73